

平成 25 年度（一社）日本音響学会九州支部総会資料

会 場：九州大学 大橋キャンパス 3 号館 2 階 322 教室
福岡市南区塩原 4-9-1

日 時：平成 25 年 3 月 30 日（土曜日）14:30 ～ 16:00

総会議事：

1. 平成 24 年度活動報告
2. 平成 24 年度収支報告
3. 平成 24 年度会計監査報告
4. 平成 25 年度活動計画
5. 平成 25 年度予算案
6. 平成 25 年度支部役員及び評議員選挙結果
7. 支部学生表彰について
8. 一般社団法人化に伴う支部規則改正について
9. 支部学生表彰制度の改正について
10. その他

1. 平成 24 年度活動報告

事業年度：平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日

(1) 平成 24 年度会員現況

会員種別	平成 24 年 3 月 2 日現在	平成 25 年 2 月 28 日現在	平成 24 年度内 の増減
名誉会員	0	0	0
終身会員	4	6	+2
正会員	183	169	-14
学生会員	70	58	-12
会員数 合計	257	233	-24
賛助会員	4 社 4 口	3 社 3 口	-1 社, -1 口

※会費の特例制度について

卒業により学生会員から正会員に種別変更される場合の会費割引などは、下記をご参照下さい。

<http://www.asj.gr.jp/2010/pdf/201010kaihitokurei.pdf>

(2) 支部総会定足数の確認

支部総会（平成 25 年 3 月 30 日 14:30～16:00）において、
議決権を持つ会員数：名誉会員数、終身会員数、正会員数の合計 175 名
定足数： 35 名（議決権を持つ会員数の 5 分の 1）、
出席者 23 名、委任状 68 名、計 91 名であるので、総会成立。

(3) 事業内容

1. 九州支部主催または共催の研究発表会、研究会等の実施

開催日	支部主催 共催の別	会合名(開催場所)
2012年9月24・25日(月・火)	共催	電気関係学会九州支部連合大会(長崎大学)
2012年10月13日(土)	共催	音楽音響研究会(九州大学大橋キャンパス)
2012年11月16日(金)	共催	騒音・振動研究会(熊本大学)
2012年11月16・17日(金・土)	共催	電気音響研究会(大分大学)
2012年12月15・16日(土・日)	共催	聴覚研究会(門司海員会館)
2013年1月26日(土)	主催	嶺南九州音響学会議 2013 (YKJCA2013) (Korea Maritime University)
2013年2月20日(水)	共催	建築音響研究会(九州大学大橋キャンパス)
2013年3月18日(月)	共催	騒音・振動研究会(沖縄産業支援センター)

2. 嶺南九州音響学会議 2013 開催概要について

平成25年1月26日（土）にKorea Maritime University（韓国・釜山）において、嶺南九州音響学会議 2013（Youngnam-Kyushu Joint Conference on Acoustics 2013）を開催した。嶺南九州音響学会議は、日本音響学会九州支部および韓国音響学会嶺南支部の主催で開催される音響学に関する会議であり、両支部の学術交流の発展と両支部を中心とする音響学研究者の科学技術情報の交換を目的とした会議である。発表は、特別講演2件（日韓各1）、口頭発表24件（日本から12件、韓国から12件）、ポスター発表16件（日本から5件、韓国から11件）の合計42件であった。

3. 学生表彰の実施

平成 24 年度エントリ締切（2013 年 2 月 22 日）から遡って 24 ヶ月内に九州支部が主催または共催した研究発表会、研究会等における学生の発表を対象として応募者を募り、特に優れたものを表彰する事業を行った。平成 25 年 2 月 5 日に応募案内を送った結果、2 月 22 日の締め切りまでに合計で 9 件の応募があった。その内訳は、学部 4 年生が 1 件、大学院修士課程学生が 7 件、大学院博士課程学生が 1 件である。平成 25 年 3 月に、支部役員による表彰者選考を行い、5 名の学生表彰者を選出した。また、表彰式は 3 月 30 日の支部総会開催時に実施される。なお、表彰対象者の詳細は後の議事で報告する。

4. 電気関係学会九州支部連合会における活動

1) 電気関係学会九州支部連合大会

平成 24 年 9 月 24 日及び 25 日に、長崎大学文教キャンパスにて開催された。一般講演申込件数は 575 件であり、そのうち音響・音声部門では 16 件の発表が行われた。

2) 会議出席

平成 24 年 5 月 18 日 第 1 回大会委員会・合同会議（九州大学西新プラザ）

平成 24 年 9 月 24 日 第 2 回大会委員会（長崎大学）

平成 24 年 11 月 15 日 第 3 回大会委員会（電気ビル北館）

平成 25 年 3 月 7 日 第 4 回大会委員会（電気ビル北館）

（上記会議の重要な審議事項は、連合大会の今後の運営方針など。）

3) 連合大会役員

委員 長崎大学 山内勝也

注) H24 年度から、連合大会旧体制「役員会」「運営委員会」「幹事会」は、新体制での「連合大会委員会」に集約された。

(4) 事務、その他の活動

1. インターネットを利用した支部の活動の公開（継続）

掲載内容の充実：九州支部関連文書、支部からのお知らせ、支部行事の報告。

2. 役員選挙の実施および役員会、総会の開催

平成 25 年 3 月に実施、開催。

平成24年度 一般社団法人 日本音響学会九州支部 決算書

勘定科目	平成24年度	平成24年度	増減	科目の説明
	九州支部決算額	九州支部予算額		
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 事業収入	0	0		
研究発表会事業収入	0	0	0	
支部若手研究者発表会収入	0	0	0	
電気関係学会九州支部連合大会戻入金	0	0	0	
講習会事業収入	0	0	0	
講習会参加料収入	0	0	0	
特別企画収入	0	0	0	
② 雑収入	219	0		
受取利息収入	219	0	219	銀行等利子
雑収入	0	0	0	
③ ◎ 他会計からの繰入額	436,000	436,000	0	
③ ☆ 本部会計からの繰入金収入(送金額)	432,679	432,679	0	本部より振り込み
△ 本部会計繰入金収入(源泉補充額)	3,321	3,321	0	本部源泉補充分
☆ 支部扱いの事業活動収入計(A)	432,898	432,679	219	
◎ 総額の支部事業活動収入計(B)	436,219	436,000	219	

勘定科目	平成24年度	平成24年度	増減	科目の説明
	九州支部	九州支部予算額		
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	90,000	146,000		
研究委員会等事業費	20,000	70,000		
支部研究会補助金支出	20,000	70,000	△50,000	2研究会分
支部談話会補助金支出	0	0	0	
研究発表会等事業費	50,000	50,000		
支部連合大会費支出	50,000	50,000	0	支部連合大会に関わる経費
支部若手研究者発表会支出	0	0	0	学生のための研究発表会に関わる経費
講習会等事業費	0	0		
講習会費支出	0	0	0	
支部講演会・見学会支出	0	0	0	
支部交流推進経費	0	0	0	
選奨事業費	20,000	26,000		
支部表彰支出	20,000	26,000	△6,000	学生表彰記念品
特別企画等事業費	0	0		
国際会議等事業費支出	0	0	0	
その他の事業経費	0	0	0	
② 管理費	65,276	103,900		
旅費交通費支出	0	0	0	
通信運搬費支出	15,900	40,000	△24,100	
文具消耗品等購入支出	0	5,000	△5,000	
印刷製本費支出	0	2,000	△2,000	総会案内印刷
会議費支出	38,081	41,100	△3,019	
支部総会関連支出	38,081	40,000	△1,919	
支部役員会関連支出	0	1,100	△1,100	
支部委員会関連支出	0	0	0	
諸手数料支出	1,575	5,000	△3,425	銀行手数料等
消耗什器備品購入費支出	0	0	0	
雑費支出	9,720	10,800	△1,080	支部web管理維持費
③ 他会計への繰入金支出	0	0	0	

他会計への繰入金支出	0	0	0	
☆◎支部扱い事業活動支出計(C)	155,276	249,900	△94,624	
☆支部扱いの事業収支差額(D)[A-C]	277,622	182,779	94,843	
◎当期支部源泉支払額(E)	3,856	0	3,856	
◎当期支部事業収支差額総計(F)[B-C-E]	277,087	186,100	90,987	

II 投資活動収支の部	0	0	0	
1.投資活動収入				
①固定資産売却収入	0	0	0	
②積立金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2.投資活動支出				
①固定資産取得支出	0	0	0	
②特定資産取得支出	0	0	0	
③繰入金支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額(G)	0	0	0	
III 財務活動収支の部	0	0	0	
1.財務活動収入				
①借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2.財務活動支出				
①借入金返却支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額(H)	0	0	0	
IV 予備費支出(I)	0	20,000	△20,000	
☆当期支部扱い収支差額(J)[D+G+H-I]	277,622	162,779	114,843	支部扱いの収支差額
◎当期支部収支差額総計(K)[F+G+H-I]	277,087	166,100	110,987	支部の収支差額総計
☆前期支部扱い繰越収支差額(L)	1,207,103	1,207,103	0	前期の支部扱いの繰越金
[うち連合大会担当学会準備金]				
[うち周年行事準備金]	350,000	350,000	0	目標額：50万円（平成30年度開催）、準備金（5万円/年）+特別積立金（20万円：H23年度）
[うちKYJCA(日本開催)準備金]	225,000	225,000	0	目標額：50万円（2014年度開催）、準備金（12.5万円/年）+特別積立金（10万円：H23年度）
[うち若手研究者発表会準備金]	0	0	0	目標額：12万円（2013年度開催）、準備金（6万円/年）
△前期末源泉税本部預かり収支差額(M)	6,679	6,679	0	前期の本部預かり金
◎前期支部繰越収支差額総計(N)	1,213,782	1,213,782	0	前期の支部繰越金の総計
☆当期支部扱い次期繰越収支差額(O)[J+L]	1,484,725	1,369,882	114,843	当期の支部扱いの繰越金
[うち連合大会担当学会準備金]	0	0	0	
[うち周年行事準備金]	400,000	400,000	0	目標額：50万円（平成30年度開催）、準備金（5万円/年）+特別積立金（20万円：H23年度）
[うちKYJCA(日本開催)準備金]	350,000	350,000	0	目標額：50万円（2014年度開催）、準備金（12.5万円/年）+特別積立金（10万円：H23年度）
[うち若手研究者発表会準備金]	60,000	60,000	0	目標額：12万円（2013年度開催）、準備金（6万円/年）
△当期支部源泉税支払額(P)	3,856	0	3,856	
◎当期源泉税本部預かり収支差額(Q)	6,144	10,000	△3,856	
◎当期支部繰越収支差額総計[K+N]	1,490,869	1,379,882	110,987	

平成 25 年 3 月 22 日

(一社)日本音響学会九州支部

支部長 宇佐川 毅 殿

(一社)日本音響学会九州支部

会計監査 秋田 昌憲



会計監査 穴井 謙



平成 24 年度収支決算書について、関係書類とともにその内容を
監査した結果、法令および支部規則に照らして正当であることを
認めます。

4. 平成 25 年度活動計画

事業年度：平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日

(1) 事業計画

1. 九州支部主催または共催の研究発表会、研究会等の実施

平成 25 年度も前年度並みの開催数を見込んでいる。講演会、学会等の開催協力にも適宜、対応する。平成 25 年度は「第 10 回学生のための研究発表会」を開催する。

2. 学生表彰の実施

平成 25 年度内公示から 24 ヶ月に遡って九州支部が主催または共催する、研究発表会、研究会および「学生のための研究発表会」「嶺南九州音響学会議(YKJCA)」における学生の発表を対象として応募者を募り、特に優れたものを表彰する。

3. 電気関係学会九州支部連合会における活動

分担金の支出、役員への派遣。連合大会が平成 25 年 9 月 24 日（火）、25 日（水）に熊本大学にて開催される。連合大会運営方針に基づき、開催の当番学会は、主当番学会 電気学会／副当番学会 日本音響学会である。

(2) 事務、その他の活動

1. インターネットを利用した支部の活動の公開（継続）

掲載内容の充実：九州支部関連文書、支部からのお知らせ、支部行事の報告、研究室訪問の充実。サーバのメンテナンスや Web コンテンツの作成などについては、学生アルバイトを利用する。

2. 役員選挙の実施および役員会、総会の開催

平成 26 年 3 月に実施、開催。

一般社団法人 日本音響学会 九州支部予算案

平成25年3月1日から平成26年2月28日まで

勘定科目	平成25年度	平成24年度	増減	科目の説明
	九州支部予算額	九州支部予算額		
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①事業収入	0	0		
研究発表会事業収入	0	0		
支部若手研究者発表会収入	0	0		
電気関係学会九州支部連合大会戻入金	0	0		
講習会事業収入	0	0		
講習会参加料収入	0	0		
特別企画収入	0	0		
②雑収入	0	0		
受取利息収入	0	0		銀行等利子
雑収入	0	0		
③◎他会計からの繰入額	405,000	436,000		
③☆本会計からの繰入金収入(送金額)	401,144	432,679	△31,535	本部より振り込み
△本会計繰入金収入(源泉補充額)	3,856	3,321		本部源泉補填分
☆支部扱いの事業活動収入計(A)	401,144	432,679		
◎総額の支部事業活動収入計(B)	405,000	436,000	△31,535	

勘定科目	平成25年度	平成24年度	増減	科目の説明
	九州支部予算額	九州支部予算額		
2. 事業活動支出			0	
①事業費支出	261,000	146,000	115,000	
研究委員会等事業費	70,000	70,000	0	
支部研究会補助金支出	70,000	70,000	0	7研究会分(平成23年度実績)
支部談話会補助金支出	0	0	0	
研究発表会等事業費	165,000	50,000	115,000	
支部連合大会費支出	50,000	50,000	0	支部連合大会に関わる経費
支部若手研究者発表会支出	115,000	0	115,000	学生のための研究
講習会等事業費	0	0	0	
講習会費支出	0	0	0	
支部講演会・見学会支出	0	0	0	
支部交流推進経費	0	0	0	
選奨事業費	26,000	26,000	0	
支部表彰支出	26,000	26,000	0	学生表彰記念品
特別企画等事業費	0	0	0	
国際会議等事業費支出	0	0	0	
その他の事業経費	0	0	0	
②管理費	103,100	103,900	△800	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信運搬費支出	40,000	40,000	0	
文具消耗品等購入支出	5,000	5,000	0	
印刷製本費支出	2,000	2,000	0	総会案内印刷
会議費支出	41,100	41,100	0	
支部総会関連支出	40,000	40,000	0	
支部役員会関連支出	1,100	1,100	0	
支部委員会関連支出	0	0	0	
諸手数料支出	5,000	5,000	0	銀行手数料等
消耗什器備品購入費支出	0	0	0	
雑費支出	10,000	10,800	△800	支部web管理維持費 @900 x 12ヶ月
③他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
☆◎支部扱い事業活動支出計(C)	364,100	249,900	114,200	
☆支部扱いの事業収支差額(D) [A-C]	37,044	182,779	△145,735	
◎当期支部源泉支払額(E)	0	0	0	
◎当期支部事業収支差額総計(F) [B-C-E]	40,900	186,100	△145,200	

Ⅱ 投資活動収支の部	0	0	0	
1. 投資活動収入				
① 固定資産売却収入	0	0		
② 積立金取崩収入	0	0		
投資活動収入計	0	0		
2. 投資活動支出				
① 固定資産取得支出	0	0		
② 特定資産取得支出	0	0		
③ 繰入金支出	0	0		
投資活動支出計	0	0		
投資活動収支差額(G)	0	0		
Ⅲ 財務活動収支の部	0	0	0	
1. 財務活動収入				
① 借入金収入	0	0		
財務活動収入計	0	0		
2. 財務活動支出				
① 借入金返却支出	0	0		
財務活動支出計	0	0		
財務活動収支差額(H)	0	0		
Ⅳ 予備費支出(I)	20,000	20,000	0	
☆ 当期支部扱い収支差額(J) [D+G+H-I]	17,044	162,779		支部扱いの収支差額
◎ 当期支部収支差額総計(K) [F+G+H-I]	20,900	166,100		支部の収支差額総計
☆ 前期支部扱い繰越収支差額(L)	1,484,725	1,207,103	277,622	前期の支部扱いの繰越金
[うち連合大会担当学会準備金]	0	0	0	
[うち周年行事準備金]	400,000	350,000	50,000	目標額：50万円(平成30年度開催), 準備金(5万円/年)+特別積立金(20万円:H23年度)
[うちKYJCA(日本開催)準備金]	350,000	225,000	125,000	目標額：50万円(2014年度開催), 準備金(12.5万円/年)+特別積立金(10万円:H23年度)
[うち若手研究者発表会準備金]	60,000	0	60,000	目標額：12万円(2013年度開催), 準備金(6万円/年)
△ 前期末源泉税本部預かり収支差額(M)	6,144	6,679	△535	前期の本部預かり金
◎ 前期支部繰越収支差額総計(N)	1,490,869	1,213,782	277,087	前期の支部繰越金の総計
☆ 当期支部扱い次期繰越収支差額(O) [J+L]	1,501,769	1,369,882	131,887	当期の支部扱いの繰越金
[うち連合大会担当学会準備金]	0	0	0	
[うち周年行事準備金]	250,000	200,000	50,000	目標額：50万円(平成30年度開催), 準備金(5万円/年)
[うち周年行事準備金特別積立金]	200,000	200,000	0	20万円:H23年度
[うちKYJCA(日本開催)準備金]	375,000	250,000	125,000	目標額：50万円(2014年度開催), 準備金(12.5万円/年)
[うちKYJCA(日本開催)準備金特別積立金]	100,000	100,000	0	10万円:H23年度
[うち若手研究者発表会準備金]	0	60,000	△60,000	目標額：12万円(2013年度開催), 準備金(6万円/年)
△ 当期支部源泉税支払額(P)	0	0	0	
◎ 当期源泉税本部預かり収支差額(Q)	10,000	10,000	0	
◎ 当期支部繰越収支差額総計[K+N]	1,511,769	1,379,882	131,887	

6. 平成 25 年度支部役員および評議員選挙

任期：平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

有効投票数 郵送 25 票および電子投票 65 票，計 90 票であり，各候補者は 87 票以上を獲得した。

役職別	候補者氏名	勤務先
評議員	秋田 昌憲	大分大学
評議員	岩宮 眞一郎	九州大学
評議員	緒方 公一	熊本大学
評議員	富来 礼次	大分大学
評議員	山内 勝也	長崎大学
庶務幹事	藺田 光太郎	長崎大学
会計幹事	高田 正幸	九州大学
会計監査	藤本 卓也	四元音響設計事務所

来年度まで任期が継続する役員は、以下のとおり。

任期：平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

支部長	宇佐川 毅	熊本大学
副支部長	尾本 章	九州大学
評議員	川井 敬二	熊本大学
評議員	鮫島 俊哉	九州大学
評議員	渡嘉敷 健	琉球大学
評議員	福島 学	日本文理大学
評議員	水町 光徳	九州工業大学
庶務幹事	菖木 禎史	熊本大学
会計幹事	岡本 則子	有明工業高等専門学校
会計監査	穴井 謙	九州工業大学

7. 支部学生表彰について

役員による審査結果に基づき、学部生、大学院博士前期課程、大学院博士後期課程の各カテゴリで得点の高かった下記5名を表彰することとしたい。

【学部生の部門】

学生氏名（よみがな）：岸田 卓也（きしだ たくや）

学生所属：九州大学 芸術工学部・音響設計学科

論文題目：歌唱音声の多変量解析と再合成

学会、研究会等の名称：聴覚研究会（門司海員会館）

指導教員氏名：中島 祥好

【大学院博士前期課程の部門】

学生氏名（よみがな）：小野口 平（おのぐち たいら）

学生所属：熊本大学 大学院 自然科学研究科・情報電気電子工学専攻

論文題目：周波数領域両耳聴モデルに基づく自発話の検出を目指した近傍頭部伝達関数に関する考察

学会、研究会等の名称：平成23年度 電気関係学会九州支部連合大会（佐賀大学）

指導教員氏名：宇佐川 毅

学生氏名（よみがな）：近藤 善隆（こんどう よしたか）

学生所属：日本文理大学 大学院 工学研究科・環境情報学専攻

論文題目：主観評価実験における被験者の状況把握に関する研究

学会、研究会等の名称：電気音響研究会（大分大学）

指導教員氏名：福島 学

学生氏名（よみがな）：原 千晶（はら ちあき）

学生所属：大分大学 大学院 工学研究科・福祉環境工学専攻

論文題目：Study on termite control for buildings using vibro-acoustic signals
-Basic investigation on relationship between vibration characteristics of feeding surface and feeding activity-

学会、研究会等の名称：九州嶺南音響学会議 2013（Korea Maritime University）

指導教員氏名：大鶴 徹

【大学院博士後期課程の部門】

学生氏名（よみがな）：濱村 真理子（はまむら まりこ）

学生所属：九州大学 大学院芸術工学府・芸術工学専攻

論文題目：最適聴取レベルと音の大きさ知覚における男女差

学会、研究会等の名称：聴覚研究会（門司海員会館）

指導教員氏名：岩宮眞一郎

2013年3月30日

支部学生表彰規則の改正について

支部学生表彰検討WG

はじめに

日本音響学会九州支部では、音響学関連分野における研究活動を通して優れた学生を育成することを目的とし、支部学生表彰制度を設けています。そして、本支部では、学生表彰をより魅力的な制度とするために、積極的に学生表彰規則の見直しを行ってきました。本学生表彰検討WGでは、現行表彰制度に残る課題を顕在化し、学生表彰の在り方について更なる検討を行いました。

学生表彰の現状

現行の支部学生表彰では、学生による「優れた発表」を表彰することを前提としており、支部学生表彰細則第1条に則り、特定の発表を対象として審査を行っています。従って、複数の発表を行った場合、それらの各々についてエントリする必要があります。また、支部学生表彰細則第5条では、表彰の対象となる発表は、本支部が主催及び共催する研究発表会、研究会、及び学生のための講演会における口頭発表ならびにポスター発表と定めています。しかし、学生表彰を受賞するべき優秀な大学院生の多くは、本支部が主催及び共催する研究発表会等に限らず、音響分野の様々な学術イベントでも幅広く活躍しております。3つ目の課題として、現行の支部学生表彰では、学部生、博士前期課程学生、博士後期課程学生の3つのカテゴリにおいてそれぞれ選考を行っておりますが、各カテゴリで優れた表彰についての基準は明示されておられません。そのため、表彰される対象発表の質が均一ではないことが指摘されています。

学生表彰の改正案

本学生表彰検討WGでは、現状の課題を解決するために、以下の改正を提案します。

(a) 学生表彰の在り方について

優れた発表の表彰から、優れた学生の表彰へと改正し、学生の継続的な研究活動を積極的に表彰することを提案します。

[支部学生表彰細則第1条]

音響学に関する学生による研究発表のうち、とくに優れたものを表彰し、もって学生の音響学研究の意欲を向上させ、ひいてはわが国における当該分野の発展に資することを目的とする。

[支部学生表彰細則第 1 条の改正案]

音響学に関する研究発表を行った学生のうち、とくに優れた学生を表彰し、もって学生の音響学研究の意欲を向上させ、ひいてはわが国における当該分野の発展に資することを目的とする。

(b) 対象研究発表について

従来通り、本支部が主催及び共催する会合における発表を主たる発表と位置付け、それ以外の音響関連分野での研究発表も併せて考慮することを提案します。

[支部学生表彰細則第 5 条]

日本音響学会九州支部が主催及び共催する研究発表会、研究会、及び学生のための講演会における口頭発表ならびにポスター発表を対象とする。

[支部学生表彰細則第 5 条の改正案]

日本音響学会九州支部が主催及び共催する研究発表会、研究会、及び学生のための講演会における口頭発表ならびにポスター発表を主たる対象とする。

(c) 審査委員会の構成について

現状は、庶務幹事が学生表彰の実務を担当しています。しかし、学生表彰の時期は、支部運営に関わる業務が集中しております。そこで、庶務幹事の負担軽減及び審査委員の専門性についても考慮して、柔軟に審査委員会を構成することを提案します。

[支部学生表彰細則第 3 条]

九州支部役員全員をもって審査委員会を構成し、委員長 1 名を置く。

[支部学生表彰細則第 3 条の改正案]

支部長もしくは支部長が指名する審査委員長が審査委員会委員を構成する。

(d) 学生表彰の質の保証について

学生表彰の基準を内規で定め、その基準に達する学生がない場合は、当該年度の表彰者を不在とすることを提案します。

【参考資料】

日本音響学会九州支部学生表彰規則（改正案）

平成12年3月31日制定

平成20年3月31日改正

平成21年3月28日改正

平成23年3月26日改正

平成25年3月30日改正

（目的）

[第1条]

音響学に関する研究発表を行った学生のうち、とくに優れた学生を表彰し、もって学生の音響学研究の意欲を向上させ、ひいてはわが国における当該分野の発展に資することを目的とする。

（対象学生）

[第2条]

日本音響学会九州支部の、在学中の学生会員（大学院修士課程含む）及び大学院博士（後期）課程在学中の正会員とする。なお、九州支部の正会員と連名で研究発表を行なった非会員の音響を専攻している学生も含める。

（審査員）

[第3条]

支部長もしくは支部長が指名する審査委員長が審査委員会委員を構成する。

（対象期間）

[第4条]

募集締切日から遡り24ヶ月前日以降における研究発表を対象とする。

（対象研究発表）

[第5条]

日本音響学会九州支部が主催及び共催する研究発表会、研究会、及び学生のための講演会における口頭発表ならびにポスター発表を主たる対象とする。

（対象発表者）

[第6条]

口頭発表の登壇者ならびにポスター発表の主たる説明者とする。

（審査の方法）

[第7条]

審査員全員により投票し、多数決により決定する。最上位が同数の場合は決選投票とする。

(指導教員の位置付け)

[第8条]

審査員が対象者の指導教員もしくは共著者である場合は当該論文の審査判断には参加しないものとする。

(表彰の数)

[第9条]

若干名とする。

(表彰方法)

[第10条]

賞状と副賞を授与する。母体名は日本音響学会九州支部とし、発令者は支部長とする。

(規則の承認)

[第11条]

この規則は支部役員会に諮り、支部総会において承認が得られ次第、同日施行されるものとする。

(規則の変更)

[第12条]

本規則を変更する場合は支部役員会に諮り、総会において承認を得るものとする。

[付則]

この規則は平成25年3月30日から施行する。

2013年度日本音響学会九州支部学生表彰

——エントリーシート（例）——

※以下の◎項目の記入は必須、○項目の記入は任意とします。

◎学生氏名／よみがな：

◎学生所属（大学・高専名、学部・専攻名、学年）：

◎研究テーマ（簡潔に記入すること）：

◎主たる発表論文（日本音響学会九州支部が主催または共催した学会、研究会等）

- ・ 題目：
- ・ 著者名（連名者を含む全員）：
- ・ 論文が発表された学会、研究会等の名称：
- ・ 発表年月日：
- ・ 予稿集等の名称、ページ番号などの書誌情報：
- ・ 発表論文における役割（記入例：○○のアイデアを提案、△△の実験を実施）：

○その他の発表論文（音響学に関連する学会、研究会等）

※複数件の発表論文を記載する場合、下記項目を件数分コピーして記入すること

- ・ 題目：
- ・ 著者名（連名者を含む全員）：
- ・ 論文が発表された学会、研究会等の名称：
- ・ 発表年月日：
- ・ 予稿集等の名称、ページ番号などの書誌情報：
- ・ 発表論文における役割（記入例：○○のアイデアを提案、△△の実験を実施）：

◎指導教員氏名：

○指導教員からの推薦文（200字程度）：

◎学生の連絡先

- ・ 住所（所属機関の場合、研究室名等まで明記すること）：

Tel.：

Fax：

e-mail：

○指導教員の連絡先

所属機関住所：

Tel.：

Fax：

e-mail：